

## 1. 活動報告

## 1) プレスリリース

## 川崎真弘

川崎真弘助教(システム情報系)らの研究チームの成果が、2月22日にプレスリリースされました。

ヒトが聴覚リズムを再現する課題を繰り返し行くと、学習が進むにつれて前頭と聴覚野と小脳でベータ波の同期が増加することを発見しました。

今回発見された結果によって、リズム学習には聴覚・運動・学習に関係する脳部位が協調して活動する必要性が明らかになりました。この発見によって、現状の音楽学習やダンス学習などの効果の検証や、この脳波同期を誘発することによる新たな学習方法の提案が期待されます。

(本文参照：

<http://www.tsukuba.ac.jp/attention-research/p201702221900.html>)

## 2) 業績 (17年2月)

## &lt;原著論文&gt;

Takei K, Nakagawa Y, Wang Y, Han SI, Satoh A, Sekiya M, **Matsuzaka T**, Shimano H.

“Effects of K-877, a novel selective PPAR $\alpha$  modulator, on small intestine contribute to the amelioration of hyperlipidemia in low-density lipoprotein receptor knockout mice.”

Journal of Pharmacological Sciences. 2017 (in press).

IF=2.106

井藤大樹・村上 亘・堀井裕一・小橋興次・**横井智之**

“岡山県赤磐市の棚田環境における灌漑期・非灌漑期の水生動物相とその消長”

日本生物地理学会会報. 71巻. pp97-107, (2017) IF=なし

**Tomoyuki Yokoi**, Naoto Idogawa, Ikuo Kandori, Aoi Nikkeshi, Mamoru Watanabe

“The choosing of sleeping position in the overnight aggregation by the solitary bees *Amegilla florea urens* in Iriomote Island of Japan.”

The Science of Nature (Naturwissenschaften) Accepted

IF=1.773 (2015年)

## &lt;学会発表・招待講演&gt;

## 川口敦史

東京大学医科学研究所共同研究拠点事業 平成28年度若手研究者シンポジウム

演題：『小胞輸送系を介したインフルエンザウイルスゲノムの細胞内動態制御機構』（招待講演）

日時：2017年2月17日

場所：東京大学医科学研究所

## 2. スケジュール

<17年3月>

2日(木)

テニュアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会(メール会議)

13日(月) 11:00~12:00

若手セミナー 第43回

演者：中神弘史氏

マックス・プランク植物育種学研究所・グループリーダー  
理化学研究所 環境資源科学研究センター 植物プロテオミクス研究ユニット・ユニットリーダー

演題：『進化プロテオミクスによる植物免疫システムの理解』

会場：筑波大学 TARA センターC棟

対象者：筑波大学学類生、大学院生、研究員、教員、およびつくば市周辺の研究者

世話人：石賀康博

テニュアトラック普及・定着事業 News Letter vol 62

[平成29年3月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

\*当ニューズ・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。  
連絡先：テニュアトラック支援室